

2025年度入試 筑波大学附属小学校 Aグループ男子試験内容 <速報>

●受付

- ・門前に先生が1名いてアナウンスをしている。1.校舎に入る前に室内履きを履く。2.検温をする。3.試験は2時間程度かかること。4.トイレ誘導をすること。5.携帯OFF。の5点を指示される。
- ・講堂に移動して受付。受験番号順（アルファベットごとに列が分けられる）に受付し、番号が書かれている席に着席。1クラス最大30名。受験票を本人に渡し、本人確認がされる。
- ・受験番号表示は、前年同様に左胸と右肩に貼るシールに代用。講堂のスクリーンに指示が書かれている。
- ・受験生はクラスごとに整列し（通路側に子供を座らせるよう指示あり）、先生の引率のもと教室に移動。準備が整ったクラスから誘導されていく。受付後から試験教室誘導まではクラスごとに経過時間が異なる。
- ・保護者席に記入ボードが置いてある。中に作文記入用紙が挟まっている。作文用紙以外は片付けてしまうように指示される。
- ・講堂に保護者だけになると、先生が壇上に立って注意事項の説明、作文課題の発表、学校紹介のビデオを見る。
- ・校長先生からの話の後、作文を書く（記入時間は25分）。メモは作文用紙の裏側に書くよう指示される。作文の課題は正面のスクリーンに表示され、作文用紙の欄に書き込む。その他、具体的な指示は裏側に書き取る。作文記入後、受験票が返却される。
- ・解散まで保護者は講堂で待機。10時40分過ぎに最も早いクラスが帰還。

●保護者の過ごし方

<前年との共通点>学校紹介のビデオを先に視聴してからアンケートを記入

<アンケート用紙>直前講習<P学力>で配布した見本と同じ用紙。

★課題テーマ「6年を通して本校の教育に期待すること、保護者として成長をどう支えるのか。」

- 1.筑波の授業を含む日常生活を通じた学び
- 2.学校行事を通じた学び
- 3.上の2点を踏まえて、親はどのようにサポートするのか

※上記3項目の回答を織り交ぜて文章で記入する。アンケート用紙に番号を記入し、その続きから回答を記入。また、ナンバリングされていないが「P.T.A活動に参加されるか」についても回答すること。前年との違いは、各課題テーマの下線部のみ文言が異なる。なお、上記は講堂スクリーンに表示される。

●試験の流れ

<定員>ペーパーと制作は30名一斉実施。それ以外の考査は15名ずつに分けて実施。体操のみ別室。実施クラスによって報告が異なるため、現時点では以下のパターンが考えられる。なお、考査の順序は、

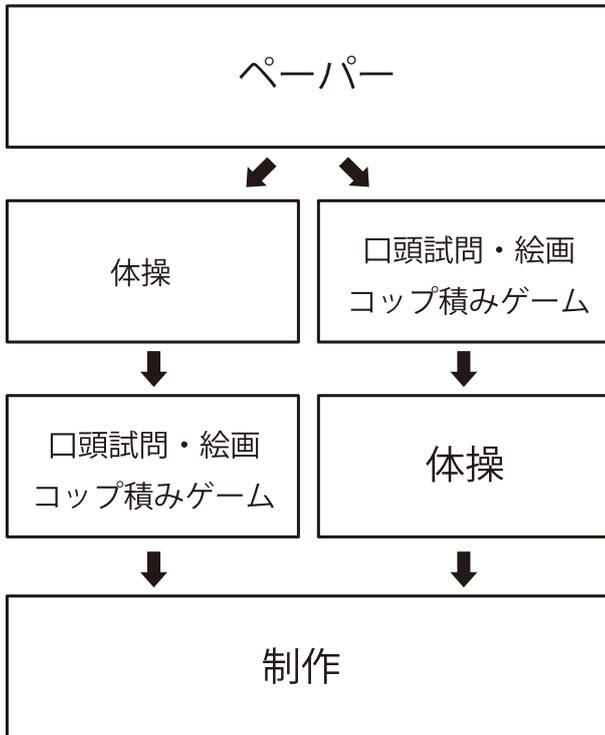
無断転載（SNS等含む）・引用・出品等不可

前年も同じく固定されていなかったため、空きクラス・スピーカーとなる先生によって変わると思われる。

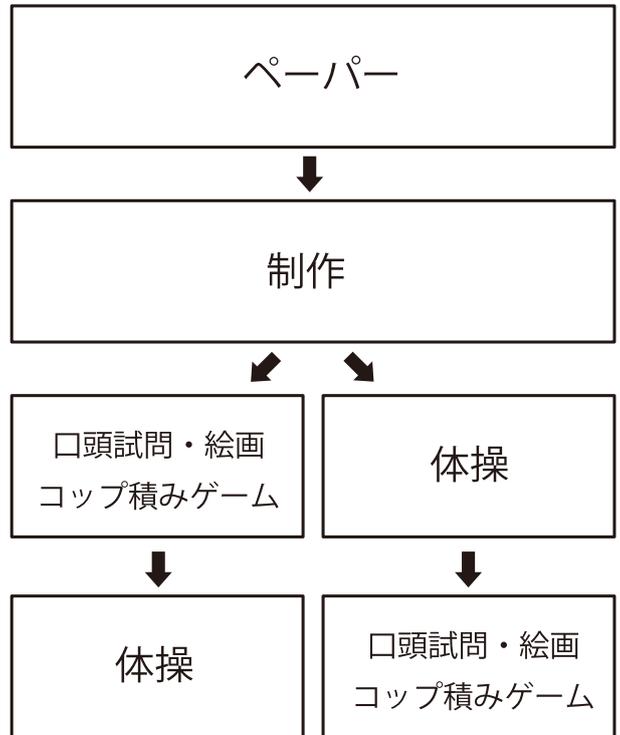
パターンA ①ペーパー →②制作 →③口頭試問・絵画・コップ積みゲーム →④体操

パターンB ①ペーパー →②体操 →③口頭試問・絵画・コップ積みゲーム →④制作

パターンA



パターンB



※本日の再現講習は、進行のスムーズさを考慮し、上記の実施順ではありません。

●ペーパー

当スクールと同様に電子黒板（プロジェクター）にて問題説明。1枚目がお話の記憶、2枚目に図形。箱の中にクーピーペンが5本。色は、赤色・青色・黒色・緑色・黄色。入室時に机の上にペーパーが表の状態ですべて置いてある。お話の記憶開始前にペーパーを裏返しにするように指示がある。

1枚目-お話の記憶

<問題数>10問

<筆記具>赤色のクーピーペン ※別の色で塗る問題もある

<ペーパーの向き>横向き B4サイズ程度。問題の配置は2列で、各5問ずつ印刷されている

※お話も設問もすべてスピーカーによる聞き取り。設問の録音は、問題説明に加えて実施の合図「よーいはじめ。」まで録音されており、悩むことなく解答できた模様。人間が出てくるお話。

2枚目-図形（移動）

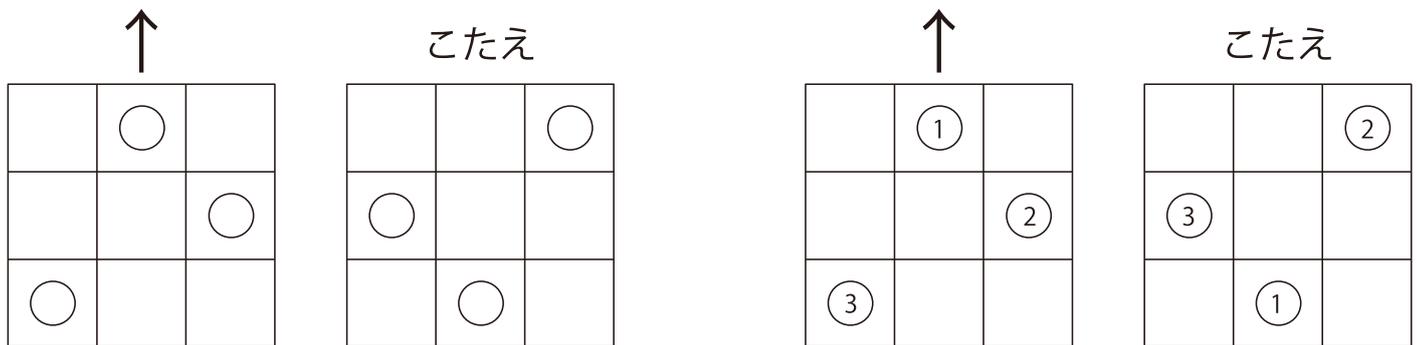
<問題数>15問+例題が1問

<筆記具>赤色のクーピーペン

<ペーパーの向き>横向き B4サイズ程度

<問題の配置>3列で、各5問ずつ印刷されている

★**説明要約**「マスの中にいくつかの○があります。この○をマスの近くにある矢印の向きに従って動かします。このとき、マスからはみだしてしまう○がありますが、この○はマスの反対側から戻ってきます。この約束で○がどの位置に動くのかを考えて、隣の何も描かれていないマスに○を描きましょう。」
 実施時間は3分程度と例年通り短いと予想できるが、聞き取りをしたスクール会員の子のうち、すべてできたと言っている子が大半いる。設問は電子黒板を用いて説明。例題を全員で解いた後、残り14問を時間内に解答する従来通りのパターン。前半9問は3×3マス、最後5問は4×4マス。



●**口頭試問・コップ積みゲーム・絵画**

30名を分散して実施。

Aチーム：口頭試問・コップ積みが15名

Bチーム：絵画が15名

口頭試問は15名ずつ呼ばれて教室の端で実施。この待ち時間で絵画をおこなう。

【**口頭試問**】

まず、15名を5人ずつに分けて、各グループが先生の前に体操すわりで並んで面接をおこなう。全員が先生の前に立って横並びになるため、質問される内容は皆が異なる。ひとり2問との報告が多い。答えた回答に対して理由を聞かれることはない。以下、聞き取りであった質問内容。

- ・誕生日はいつですか
- ・一枚絵を見せられて（泣いている絵）こういう子がいたらどうしますか
- ・一枚絵を見せられて（怒っている絵）あなたがこういう顔になるのはどんなときですか
- ・一枚絵を見せられて（笑っている絵）あなたがこういうニコニコ顔になるのはどんなときですか

※終了後、再び絵を描いて待つ。

【コップ積みゲーム】

15人を3グループに分けて実施。先生とコップ積みゲームをしようとの説明がある。2回戦実施。1グループに用意されているコップは50個程度（3つ程度に小分けされている）。とくに競争という指示は無いが、5人で協力をして素早く積むようなニュアンスで伝えられる。

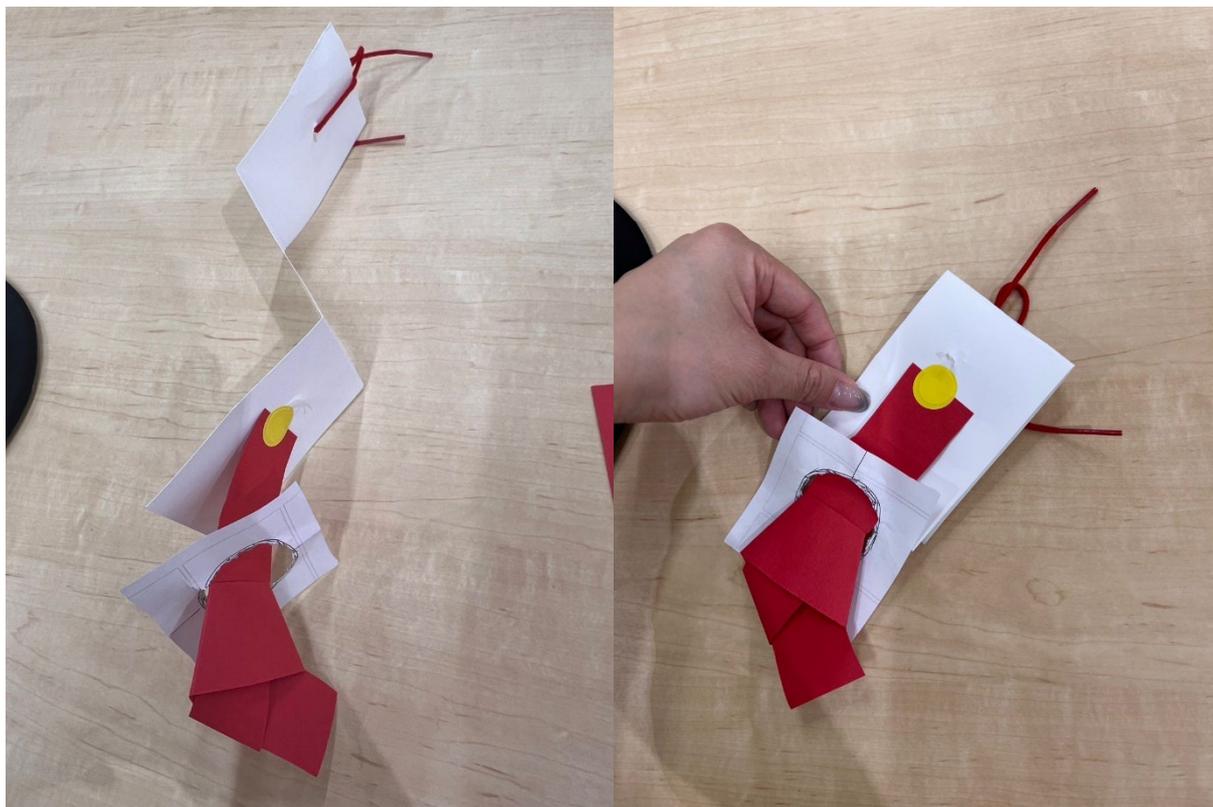
【絵画】

左上に受験番号が印字されたB5サイズの白い紙が配布（ペーパーと一緒に綴じてあるわけではない）され、指示に合った絵を描くよう指示。テーマは「家族全員で遊んでいる絵」「自分の好きな絵」など、クラスによって報告が異なる。実施中はとくに指示が追加であるわけではなく、時間になったら終了。

●制作

【Aグループ男子「へび」】

<作業手順>モニターに拡大して先生が実演しながら説明



●体操

【くま走り】

クラスを15人に分けて教室を移動しておこなう。教室の端にイスが並べられており、受験番号順に着席。先生が2名おり、うち1名によるお手本があり、この際に「手足走り」「くま走り」をしようとの説明（速く進むことを意識するような声掛けで、「速く進みましょう」とストレートに説明されたグループもあるとのこと）。実演はあるが、途中で走るのを止めてしまう先生もいる。先生はストップウォッチを所持してお
無断転載（SNS等含む）・引用・出品等不可

り、操作音もするため明らかにタイムを図っている様子が見える。コースはこれまで同様 U 字型コース。くま走りのゴールからイスに戻る際に指示もあり。なお、クラスによって報告が異なるが、くま走り後にトイレ引率や手洗いをおこなうこともある。

★手順

①スタート位置に着いて「よい、スタート」の合図でゴールまでくま走りをする。この際に「線をはみ出さないこと」、「赤ちゃん歩きになってはいけないこと」、「膝をつかないこと」、「お尻をつかないこと」

②ゴール位置を走り抜けたら、すぐに起きて気を付けをし、スキップで座席に戻る。座席は全受験生が前の席に詰めていくため、くま走りが終わった子は元いた場所ではなく、いちばん後方の空いている座席に戻る。

★並び方の指示

- ・ 2 番目以降の受験生は、前の人座席に戻ったのを確認したらスタートに移動する。
- ・ その他の受験生は座っている座席の移動が適宜ある（前に詰める）

※ 2 番目以降の受験生に対する約束は、グループによって若干違うことも。受験番号を呼ばれた子、前の子がスタート位置に移動したらすぐに 2 番目の子はその後ろに移動するなど。

※ 現地聞き取りによるものです。これからの考査、ご健闘をお祈りいたします。

しながわ・目黒こどもスクールスタッフ一同